

## 中央公園・本多の森公園の平成23年度管理状況

施設所管課	土木部公園緑地課
指定管理者	植宗・吉村グループ 代表者 (株)植宗園 代表取締役 植村 章英
指定期間	平成23年4月1日～平成26年3月31日

### (1) 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務(仕様書、事業計画)の実施状況 不十分な場合、その理由、指摘事項を記入 新規業務に関しては、新規であることが分かるよう記入
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員全員・作業員に接客マナーに関する研修、園内植物の特徴等の研修、使用機械の研修を実施</li> </ul> <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者アンケートの実施 (360件)</li> <li>・ ご意見箱の設置 (15件)</li> <li>・ 電話による意見 (1件)</li> <li>・ 利用者ニーズの反映(花の名前の資料を配付)</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽イベント、こどもクラフト教室、ドッグレスキュー、苗木配布(7700人)</li> <li>・ 山野草の小路、若者ジョブサポートによる花苗植替、ロックガーデン、芝種子吹付、落葉リサイクル、落葉の小路、</li> <li>・ ヨガ教室&lt;新規&gt;</li> <li>・ レンタサイクル&lt;新規&gt;</li> </ul> <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームページや、掲示板による公園情報の発信</li> </ul> <p>周辺地域、関係機関との連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域団体(NPO 法人石川こども環境教育学習基金)と連携しこどもクラフト教室を共同開催</li> <li>・ 地元ボランティアと連携し、園内花壇の手入れ作業を実施</li> </ul>
使用の許可に関する業務	該当なし

施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	清掃：トイレ、園路を1回/日（2～3名） 保守点検：街路灯2回/月（夜間パトロール） 消雪装置1回/年（専門業者による） カスケード循環ポンプ1回/年（専門業者による） 高圧電気機器1回/月（専門業者による） 警備及び巡回：1回/日 小規模修繕：カスケード部品交換、排水ポンプ修繕、照明施設修繕、電球交換、トイレ修繕、注意看板設置
（その他知事が必要と認める業務）	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・職員への安全管理研修、強風、豪雨、積雪前後の園内点検。 ・枯枝の除去や折枝の排除、地震後の園内点検（金沢市震度3以上） ・緊急時の対応マニュアルの整備 個人情報の管理状況 該当なし（個人情報の取扱なし）

（2）施設の利用状況

①利用指標（（設定している場合）利用人数、稼働率などの数値目標）

指標	H22年度 （参考）	H23年度	前年度比	増減理由
利用者数（人）				

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

（3）使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
該当なし			

（4）収支決算（千円）

収入		支出	
管理料	34,700	人件費	600
自主事業収入	481	光熱水費	4,518
その他	3	修繕費	356
		緑地等施設管理費	28,642
		その他	1,335
合計	35,184	合計	35,451
収支差額	▲267		

(5) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

①利用者の意見等

(ア)利用者アンケート結果（平成23年4月～平成24年3月実施 有効回答数360件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	82.7%	17.3%	0.0%	0.0%
施設の維持管理	79.2%	20.8%	0.0%	0.0%

(イ)利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成23年7月	花壇の植物の名称を教えてくださいという問い合わせあり	花の名称を記したものを配付した。

②事故、故障等

年月	内容	対応
該当なし		

③その他報告事項など

高木（クスノキ）の樹勢回復措置の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>樹勢の衰退がみられたクスノキに対し、樹木周辺に敷石を敷設し、景観に配慮しつつ踏圧から根を保護し、樹勢を回復する試みを実施。</li> </ul>
--

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多彩な自主事業を積極的に実施している。</li> <li>イベント開催期間中には、トイレ清掃の回数を増やすなど積極的に協力している。</li> <li>積極的に周辺施設と連携を取りながら利用促進を図っている。</li> </ul>
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら専門的なノウハウを活かし、衰弱した樹木の治療や芝種子吹き付けによる芝の回復を行なった。</li> <li>自主的に敷石の補修を行なった。</li> <li>落葉リサイクルを実施し経費節減に努めている。</li> </ul>
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>仕様書等に定める水準どおり実施されている。</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>多種多彩な自主事業を積極的に実施している。</li> <li>専門的なノウハウを活かし、自主的に樹木治療などを行っている。</li> </ul>

○評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：仕様書等に定める水準どおり実施されている

D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を期待する部分がある

○総合評価

A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている

B（良）：優れた管理運営がなされている

C（可）：適正な管理運営がなされている

D（不可）：改善が必要である

（7）助言・指摘事項

--